

18	豊田	竜神中学校	氏名	シミズ ショウタ 清水 翔太
分科会番号	12	分科会	自治的諸活動と生活指導（中学校）	

**研究題目** 学級の課題を自分事として捉え、解決のために仲間と協働する生徒の育成  
 — 中学2年特別活動「学級力向上」を活用した学級づくりの実践を通して —

## 研究要項

### 1 はじめに

竜神中学校は教育目標として「自律・貢献 ～心ふるえる ふるわせる時間をかさねて一人になる！～」を掲げている。そして、校訓「かしこく・ゆたかに・たくましく」のもと、「問いを立てて、考えて決めて行動する力」「認め合い、生かし合い、創造する力」「自分と地域を誇り、挑戦し続ける力」を生徒が身に付けることを目標としている。また、学習指導要領の特別活動の目標には、「集団や自己の生活、人間関係に課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする」とある。個人と個人あるいは個人と集団の中で、よりよい学級・学校生活づくりのために、課題を見つけ、主体的に解決できる資質・能力の育成が求められている。

本学級は行事や生徒会の活動などにはクラス全体で取り組むことができ、目標が定まったときは、決められたことをやり遂げようとする姿が見られる。しかし、時間を守ることや整理整頓などの規律面にルーズであったり、学校や学級をよりよくしていこうという意志が弱かったりする生徒が多い。これらのことから、自分たちの学級を客観視し、課題を見つける力が弱いと感じた。また、話し合いも苦手な面があり、自分事として受け止めたり、仲間の意見に耳を傾け、仲間と協力して行動を改めたりするところまでは至らないことが多い。そこで、本実践を通して、学級の課題を自分事として捉え、自ら仲間と共に解決していこうとする力を高めたいと考え、本研究主題を設定した。

### 2 研究内容

#### (1) めざす生徒像

学級の課題を自分事として捉え、解決のために仲間と協働する生徒

#### (2) 研究の仮説と手立て

##### 【仮説 1】

学級活動や行事において、思考を視覚化し、客観視できるようにすることで、学級の課題を自分事として捉える生徒が育つだろう。

##### 【仮説 2】

話し合い活動や行事の取組の中で、自分たちで課題を設定し、実践していく活動を充実させることで仲間と協働する生徒が育つだろう。

#### 手立て① ウェビングマップを用いて「いいクラス」を具体化する（仮説1）

これからめざしていく「いいクラス」の具体的なイメージを共有する。



れてないと思います」と発言するなど、ウェビングマップは学級の課題を見つけるときの基点となった。

## （2）学級力レーダーチャートを用いた学級会の実施【手立て②】

ウェビングマップを作成することで、学級の課題を見つけやすくなったが、発言をする生徒の意見に偏ることがあった。また、その課題からどうしていくかを話し合うことができていなかったため、学級力レーダーチャートを用いた学級会を行った。学級力レーダーチャートを作成する準備として、6つの力を判定するアンケートを実施し、その結果から六角形のレーダーチャートを作成した。（資料2）生徒は学級会の中で、レーダーチャートの分析を行い、今の学級に足りていない力について話し合う。その後、議題の設定を行い、議題をもとに、学級力を高めるための話し合いを行った。

第1回、第2回と学級力向上プロジェクトを行っていくと、生徒は課題を見つけ意見を出し合うだけでなく、クラスの様子とレーダーチャートを照らし合わせながら学級会を行えるようになってきた。第3回学級力向上プロジェクトでは、「合唱コンクールまでの過ごし方を考えよう」という議題を設定した。

レーダーチャートを見ながら、合唱コンクールに向けた取組を振り返った。（資料3）まずは、改善しなければいけないところとして「達成力が下がっている。目標の最優秀賞に対しての成長が見えづらいから」「自律力は変わっていないけど、合唱練習の集合が遅くて、ダラダラしている人がいる」などの意見が出され、学級として達成力と自律力を高めようとして決定した。話し合いの中で、生徒Aは「学級目標（最優秀賞）もそうだけど、パートリーダーが立ててくれるその日の目標や時間を全員が理解して、練習に参加した方がいいと思います」と発言した。1時間の話し合いでは、合唱コンクールまで残り1週間、「改善点を出し合い、アドバイスをし合う」「一人一人が時間を見て行動する」の2つを特に意識して行動しようとなった。生徒Aは振り返りに「あと1週間、パートリーダーに任せきるだけでなく、自分が積極的にみんなに声がけをしてアドバイスもしたい」と記入した。（資料4）

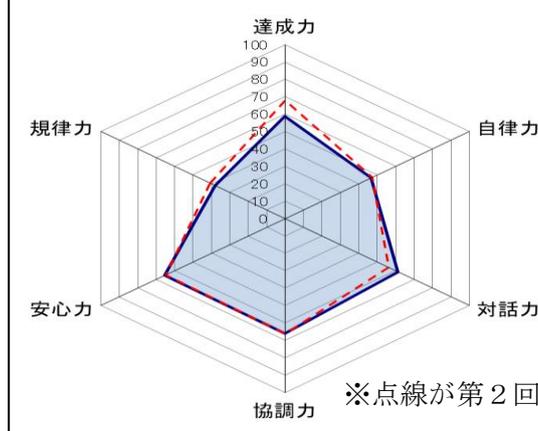
学級力レーダーチャートを用いて、合唱の取組について、話し合いを行うことにより、歌を上手に歌うためのという視点よりも、合唱コンクールで目標を達成するために学級力を高めようという視点に変わっていった。生徒の中からは、「歌がうまくてもけじめや時間を意識しないと完璧と言えない」「クラスの課題と合唱コンクールの目標を結び付けて考えることができました。僕は合唱コンクールまで時間を意識していきたいです」という意見も出された。

## （3）毎日の振り返りとその共有【手立て③】

### 資料2 学級力アンケート

学級力アンケート		年 級 記 号
<b>達成力</b>		
①目標	みんなで決めた学級目標に力を合わせて取り組んでいる学級です。	4-3-2-1
②改善	自分たちの学習や生活をよくするための話し合いや活動をしている学級です。	4-3-2-1
③役割	係や当番の活動に責任を持って取り組む学級です。	4-3-2-1
④目標	生徒会で決めた活動や学校行事に、団結して取り組んでいる学級です。	4-3-2-1
<b>自律力</b>		
⑤規律	学年や学校のために活動を実施して、進んで取り組んでいる学級です。	4-3-2-1
⑥時間	集会の準備、授業開始の準備、活動終了の時間などを守る学級です。	4-3-2-1
⑦調整	学級会では、司会や記録を自分たちで担当して話し合いを進める学級です。	4-3-2-1
⑧仕組み	集まったおとまじめに集中する時のけいぎを見つけることができる学級です。	4-3-2-1
<b>対話力</b>		
⑨聞く姿勢	発言している人の話を最後までしっかりと聞いている学級です。	4-3-2-1
⑩つづき	友だちの話を賛成・反対・つけたしと、つなげるように発言している学級です。	4-3-2-1
⑪調音	話し合いの際、考えや意見を自分で出し合う学級です。	4-3-2-1
⑫合意力	異なる意見や意見をよく聞いて、話し合いをまとめることができる学級です。	4-3-2-1
<b>協調力</b>		
⑬話し合い	家庭学習やテスト前学習などで、教え合いをしている学級です。	4-3-2-1
⑭調整	小さなでんかやトラブルは、話し合いで解決できる学級です。	4-3-2-1
⑮感謝	「ありがとう」を伝え合っている学級です。	4-3-2-1
⑯協力	授業中、グループ学習や部活動でよく協力している学級です。	4-3-2-1
<b>安心力</b>		
⑰場のせい	友だちのよいところやがんばりを認めて伝え合っている学級です。	4-3-2-1
⑱尊重	友だちをばかにしたりからかったりせず、一人一人の心を大切にしている学級です。	4-3-2-1
⑲仲間	クラスの仲が良く、共に学んだり活動したりしている学級です。	4-3-2-1
⑳平等	友だちの弱に上下関係がなく、誰とも平等に接している学級です。	4-3-2-1
<b>規律力</b>		
㉑学習	授業中にむだなおしやべりをしていない学級です。	4-3-2-1
㉒生活	あいさつ、服装、持ち物などについて、学校のまもりを守っている学級です。	4-3-2-1
㉓整理	ろうかや教室を整理整頓している学級です。	4-3-2-1
㉔校外	校外でも人の迷惑にならないように考えて行動できる学級です。	4-3-2-1

### 資料3 第3回レーダーチャート

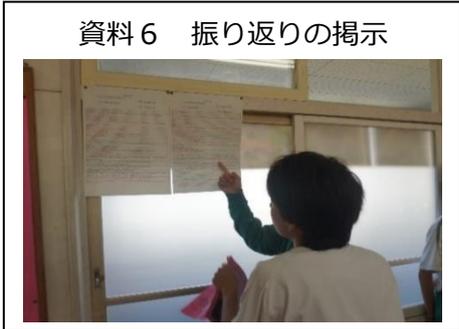


### 資料4 生徒Aの振り返り

あと一週間、パートリーダーに任せきるだけでなく、自分が積極的にみんなに声がけをしてアドバイスもしたい

合唱練習においても、課題をもつ、取り組む、成果を確認するという流れをもって練習をするために、振り返りを毎日行った。振り返りは Forms で行い、結果をこちらでまとめて、名前を伏せて教室に掲示した。(資料6) 振り返りの内容は以下の通りである。

- |  |
|--|
| ①あなたの今日の練習はどうでしたか<br>②今日のクラスの練習の取組はどうでしたか<br>③今の合唱に対する想いを教えてください<br>④明日の自分や仲間へのメッセージ |
|--|



①②は5点満点中何点だったかを入力し、平均点を学級の数値とした。③④については文章で振り返りを行った。一目でわかるように、③の内容の中で、できるようになったことや成長したことなど、気持ちが上向きなことを赤で、上手くできなかったことなど不安感を感じることを青にした。パートリーダーには掲示する紙を直接渡し、みんなの振り返りを見て、その日の目標を立てて、練習するように伝えた。

振り返りを始めて初日、個人の練習の取組が3.72に対して、学級の練習の取組が3.07だった。この数値から、クラス全体の雰囲気として、自分は頑張っているけど、クラスの仲間が頑張ってくれていないという他人の考えをもっていたことがうかがえる。アルトのサブリーダーをやっていた生徒Aの振り返りには「声がか全く出ていない。みんな出しているの? レベル」と書いてあった。(資料7) また、練習が進んでいくと、生徒Aから、「私が声を出してって言っているのに、全然声を出してくれない」という訴えがあった。しかし、放課の練習を見ていると、すぐに集まるアルトのメンバーに対して、生徒Aは自分のタイミング

資料7 生徒Aの振り返り

あなたの今日の練習はどうでしたか?	今日のクラスの練習の取組はどうでしたか?
2	1
今の合唱に対する想いを教えてください。	
<u>声がか全くでていない。みんな出しているの? レベル。</u>	

で練習を始める姿が見られ、リーダーとしての姿に課題があった。そこで、掲示してある学級の振り返りを一緒に見ながら、「頑張りたいという想いをもっている人がたくさんいる。アルトの中には、声を出すことが苦手でも一番に集合するとか、できることをやろうとしている人もいる。合唱を頑張るのにもいろんな形があるから、みんなでいい合唱するにはどうしたらよいか考えよう」と声をかけた。すると、生徒Aはみんなが声を出しやすくなるように、自分が地声でも大きな声を出したり、2人1組で口が大きく空いているかチェックすることを提案したりするようになった。その日の振り返りには、「前までは、同じメンバーに強く言ったりしちゃったことがあったけど、頑張っている人がいるから自分が頑張っている側の人になれるようにこれから全力で頑張りたい」と書いてあった。(資料8) この日の振り返りの数値として、個人の取組は3.61、学級の練習の取組が3.79だった。

資料8 生徒Aの振り返り

あなたの今日の練習はどうでしたか?	今日のクラスの練習の取組はどうでしたか?
4	4
今の合唱に対する想いを教えてください。	
<u>前までは、同じメンバーに強く言ったりしちゃったことがあったけど、<u>頑張っている人がいるから自分が頑張っている側の人になれるようにこれから全力で頑張りたい。</u></u>	

アルトパートは、大きな声を出すことが苦手な生徒が多く、学級の中でも課題として挙げられていたが、リハーサルの日の振り返りに「学年リハのアルトがだいぶ出ていた」「アルトの声がすごく出ていてよかった」と他パートの生徒が書いてくるなど、練習方法や仲間との関わり方を工夫してから、パート全体で成長していくことができた。

合唱練習の振り返りの数値として、合唱コンクールの前日には、個人の取組が3.81、学級の取組が3.89まで向上した。生徒Aの合唱コンクールの振り返りには「学級会では全員が一人一人意見を出して合唱コンクールに向けて話し合うことができた。

練習で最初の方は、人任せにしていたけど、自分が人一倍頑張ってみんなを引っ張ってあげればみんなも頑張ってくれて、頑張っている人の力になれた気がする」と書いてあった。(資料9)合唱コンクールの練習が始まったときには、仲間に対して不満を漏らす姿が見られたが、どうしたら学級の合唱がよくなるか考え、仲間と頑張ろうとするときに、自分なりの頑張り方を見つけることができた。

#### 資料9 生徒Aの合唱コンクールの振り返り

学級会では全員が一人一人意見を出して合唱コンクールに向けて話し合うことができた。練習で最初の方は、人任せにしていたけど、自分が人一倍頑張ってみんなを引っ張ってあげればみんなも頑張ってくれて、頑張っている人の力になれた気がする。

#### (4) 行事の中で学級の課題、取組について考える場の設定【手立て④】

合唱コンクールと学級力向上プロジェクトをつなげることで、学級の課題を見つけながら、仲間と頑張ろうという姿が増えてきた。「合唱コンクールで賞を取るために」という目標があったからだったが、その経験を踏まえて、普段の学級の様子をさらによくしていこうと自分たちで取組を考えて、実行できるように自然教室の立志式を軸として場の設定を行った。

竜神中学校は自然教室の立志式で「学級の誓い」を行う。「学級の誓い」では、3年生に向けてめざしたい集団像を宣言する。生徒Aを含めた立志式スタッフの話し合いの中で「どうしたら、今よりも成長した姿で立志式の誓いを行えると思う?」と問いかけた。すると、「立志式に向けて、各クラスでそれぞれのプロジェクトを行おう」という意見が出た。生徒Aは、「5組では、学級力向上プロジェクトをやっているからそれでレベルアップしてきたい」と発言した。そこで、第4回学級力向上プロジェクトでは、「立志式で誓う『学級の誓い』を考えよう」という議題で話し合いが行われた。

合唱コンクール後に行ったアンケートの結果では、課題として取り組んだ達成力は5.9から6.3に、自律力は4.7から5.1に向上していた。しかし、特に規律力が低いので、直したほうがよいところとして、生徒からも「ロッカーや机の整理整頓ができていない人が多い」「1分前着席が完璧じゃなくて、放課と授業のメリハリがついていないときがある」という意見が出た。また、「クラスの雰囲気流されてしまう感じがある」と発言した生徒もいた。その後の話し合いで、めざすべき学級の姿として、「言われなくてもできる」「メリハリがある」「自分の意見を言える」の3つを共通認識とした。

話し合いを受けて、立志式スタッフに生徒Aを含めた学級の立志式スタッフは、自然教室や3年生に向けて、級訓の「ピーチ」にちなんで「ピーチ法律とピーチ義務」をつくった。生徒Aは「当たり前のことだけど、できていないことが多い。何を守らないといけないかクラスの子たちのために明確にしたい」と言い、話し合いで出た意見と日頃の学級の様子から、掲示物を作成した。(資料10)生徒Aは「ピーチ法律は5組で守らなければいけないこと、ピーチ義務は努力義務で、学級をよりよくするためにしていきたいこと」と学級に伝えた。立志式スタッフはピーチ法律の「ロッカーや机の中を誰が見ても美しくすること」「授業の1分前には座り、完璧に授業準備しておくこと」の2つを毎日の帰りの会で確認した。生徒Aを含めた立志式スタッフの呼びかけや帰りの

#### 資料10 立志スタッフがつくった掲示



会での確認により、教員の目から見ても、呼びかけをし合う姿や意識して行動する姿が増えた。

## 5 成果と課題

### (1) 仮説1に対する成果

手立て①では、ウェビングマップを使うことで意見が活発に出て、教師と生徒、生徒と生徒の「いいクラス」を具体的に共有することができた。学級会でも、生徒Aは「協力するところや誰も休んでいないという良いところはあるけど、メリハリがつけられてないと思います」と発言するなど、ウェビングマップから学級で改善する点を探し出すことができた。

手立て②では、生徒のアンケートから学級を数値化することで、学級の課題を明確にし、学級の様子を捉えることができた。アンケートの結果を見て、どこを改善したら学級力が高まるのかが理解できるため、課題や改善したい点を考えさせたときには、一人一人が自分の意見を書くことができていた。

手立て③では、自分たちの合唱の直したいところや気になるところを具体的に書いてきたものを参考に練習を続けた。すると、多くの生徒が自分たちの合唱について具体的に振り返るようになり、課題を見つけようとすることができた。生徒Aが不満を漏らしたときには、仲間の振り返りを見ながら考えを改めることで、アルトパートの課題をリーダーとして解決しようとする姿が見られた。

以上のことから、手立て①②③は有効であり、仮説1は妥当であったと考える。

### (2) 仮説2に対する成果

手立て②では、合唱コンクールや自然教室での取組の中に、学級力レーダーチャートを組み込むことで、1年を通して、学級力を向上させようという視点で仲間と話し合いをすることができた。生徒Aは「学級目標（最優秀賞）もそうだけど、パートリーダーが立ててくれるその日の目標や時間を全員が理解して、練習に参加した方がいいと思います」と学級の仲間と協力していこうとする姿が見られた。

手立て③では、振り返りを毎日共有することで、様々な思いをもっている仲間がいることを確認でき、仲間と協働して練習するための一助となった。生徒Aは、仲間の思いを知ることで、仲間と協働するために考え、実行することができた。

手立て④では、自然教室の立志式スタッフとして活動していた生徒Aは「5組では、学級力向上プロジェクトをやっているからそれでレベルアップしていきたい」という発言を初め、「当たり前なことだけど、できていないことが多い。何を守らないといけないかクラスの子たちのために明確にしたい」と学級の課題に対して、自分たちで取組を考え、仲間と解決しようとする姿が見られた。

以上のことから、手立て②③④は有効であり、仮説2は妥当であったと考える。

### (3) 今後の課題

本実践において、様々な方法で思考を視覚化し共有することで、自分で課題を発見し、仲間と協働して解決をめざせることがわかった。学級力アンケートを1年かけて定期的に行ったが、生徒と共にアンケート内容や話し合いの時期を検討することで、より生徒が主体的に進められていけるのではないかと考える。また、学校で企画される行事や生徒会活動などでも、生徒がどんな思いや考えをもっているのかを聞き、生徒のつづきから話し合いを進めていく活動ができれば、生徒の思いから活動を広げていけるのではないかと考える。今回の実践を継続し、広げていくことで、学年や学校全体の課題を自分事として捉える生徒が増え、多くの仲間と協働して活躍できるのではないかと期待している。今後さらに、生徒たちが主体的に活動を行う取組ができるように研究を進めていきたい。

【参考文献】 田中博之 「New 学級力向上プロジェクト」 金子書房（2021）